



## 2023年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社アトラエ 上場取引所 東  
 コード番号 6194 URL <https://atrae.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 新居 佳英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鈴木 秀和 TEL 03-6435-3210  
 定時株主総会開催予定日 2023年12月15日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月14日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年9月期の連結業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	7,757	17.8	952	△10.2	922	△12.9	334	△48.5
2022年9月期	6,588	-	1,060	-	1,059	-	649	-

（注）包括利益 2023年9月期 348百万円（△45.8%） 2022年9月期 644百万円（-）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	12.60	12.60	6.2	12.7	12.3
2022年9月期	24.20	24.08	12.1	15.3	16.1

（参考）持分法投資損益 2023年9月期 -百万円 2022年9月期 -百万円

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	7,149	5,551	71.3	197.73
2022年9月期	7,400	5,926	76.7	210.54

（参考）自己資本 2023年9月期 5,094百万円 2022年9月期 5,672百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	944	△163	△1,006	4,725
2022年9月期	704	△587	△2	4,949

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	25.0	1,400	47.0	1,376	49.1	902	169.6	35.01

（注）詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

詳細は、「添付資料」P. 10「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年9月期	27,021,200株	2022年9月期	26,961,200株
2023年9月期	1,254,011株	2022年9月期	18,432株
2023年9月期	26,555,581株	2022年9月期	26,861,569株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	7,299	15.2	973	△12.0	850	△23.2	267	△62.0
2022年9月期	6,336	-	1,106	-	1,107	-	702	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期	10.06	10.06
2022年9月期	26.14	26.01

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前事業年度の期首から適用しており、2022年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	7,029	5,596	73.1	199.48
2022年9月期	7,428	6,039	77.9	214.72

（参考）自己資本 2023年9月期 5,140百万円 2022年9月期 5,785百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年11月13日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を実施する予定です。当日使用する資料を決算補足説明資料として、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	5
連結損益計算書 .....	5
連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、緩やかに回復しております。一方で、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるなど、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、成功報酬型求人メディア「Green」、組織力向上プラットフォーム「Wevox」、ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」、及びプロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」を運営してまいりました。

成功報酬型求人メディア「Green」については、我が国の経済が不透明な状況にある中でも、求人企業の多くが属するインターネット業界は、人工知能やIoTに関する様々なサービスが生まれており、ITエンジニアやWebデザイナーといった人材の需要は堅調に推移しております。当社では、求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化等、転職市場における「Green」の独自の競争優位性を活かした様々な取り組みを実施しております。

組織力向上プラットフォーム「Wevox」については、組織の状態をスコアリングして可視化し、改善策を推奨することで、利用企業の組織改善を支援するサービスであり、2017年5月の正式リリース以降着実に導入企業を増やしております。当社では、今後の拡販に向けてプロダクトの更なる向上、カスタマーサクセス体制の充実を図ることが重要と考えております。

ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」については、「ビジネスを加速させる出会い」を生み出し、ビジネスパーソンの組織の枠を超えた横の繋がりを増やすことで、オープンイノベーション、働き方の多様化、生産性の向上等を促進しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は7,757,523千円（前年同期比17.8%増）、営業利益は952,588千円（前年同期比10.2%減）、経常利益は922,591千円（前年同期比12.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は334,557千円（前年同期比48.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (People Tech事業)

成功報酬型求人メディア「Green」については、当連結会計年度の入社人数は4,420人（前年同期比7.7%減）となりました。組織力向上プラットフォーム「Wevox」については、幅広い業種・業界にサービスの提供を行っており、本書提出日現在の導入企業は3,040社を超えております。

以上の結果、People Tech事業の売上高は7,299,491千円（前年同期比15.2%増）、セグメント利益は973,317千円（前年同期比12.0%減）となりました。なお「Green」の売上高は5,237,239千円（前年同期比8.6%増）、「Wevox」の売上高は1,964,546千円（前年同期比39.3%増）であります。

#### (Sports Tech事業)

当社グループは、千葉県千葉市を本拠地とするプロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」を新規に設立し「Sports Tech事業」に進出いたしました。「アルティリー千葉」は当社の連結子会社である株式会社アルティリーが運営等を行っております。2021-22シーズンよりB3リーグに新規参入し、初年度にB2リーグへの昇格を果たし、当連結会計年度はB2リーグにて活動を行ってまいりました。

以上の結果、Sports Tech事業の売上高は1,213,931千円（前年同期比50.5%増）、セグメント損失は23,578千円（前年同期は48,364千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は7,149,650千円となり、前連結会計年度末と比べて250,418千円減少しました。これは主に、売掛金が98,568千円、繰延税金資産が95,805千円増加したものの、現金及び預金が224,451千円、投資有価証券が207,112千円減少したことによるものであります。

## （負債）

当連結会計年度末における負債は1,597,825千円となり、前連結会計年度末と比べて124,453千円増加しました。これは主に、契約負債が110,415千円、未払法人税等が20,989千円、未払消費税等が19,168千円減少したものの、未払金が272,270千円増加したことによるものであります。

## （純資産）

当連結会計年度末における純資産は5,551,825千円となり、前連結会計年度末と比べて374,871千円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益334,557千円を計上したものの、自己株式の取得により純資産が999,947千円減少したことによるものであります。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、4,725,309千円となり、前連結会計年度末と比べて224,451千円の減少となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、944,232千円の収入（前連結会計年度は704,683千円の収入）となりました。この主な増加要因は、税金等調整前当期純利益622,590千円、投資有価証券評価損300,000千円、株式報酬費用の計上額202,679千円であり、主な減少要因は、法人税等の支払額406,502千円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、163,749千円の支出（前連結会計年度は587,878千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出108,883千円、預け金の預入による支出45,000千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,006,248千円の支出（前連結会計年度は2,030千円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出1,002,947千円によるものであります。

## （4）今後の見通し

2024年9月期の連結業績予想につきましては、People Tech事業の売上高は、Greenが5,700,000千円、Wevoxが3,000,000千円、新規事業が50,000千円、Sports Tech事業の売上高は950,000千円、連結売上高は合計9,700,000千円を予想しております。連結営業利益は、People Tech事業においては、Greenの収益性を維持しながら成長を加速させるための広告宣伝投資、Wevox導入企業の組織力向上を支援するカスタマーサクセスを中心とした人材採用、Sports Tech事業においては、B1リーグ昇格を目指し、規律をもった投資を予定していることから、1,400,000千円を予想しております。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,949,761	4,725,309
売掛金	689,122	787,691
商品	6,289	7,003
その他	150,818	206,222
貸倒引当金	△3,121	△5,476
流動資産合計	5,792,870	5,720,750
固定資産		
有形固定資産		
建物	186,247	186,247
工具、器具及び備品	124,997	130,093
リース資産	19,866	19,866
減価償却累計額	△90,132	△118,234
有形固定資産合計	240,979	217,972
無形固定資産		
ソフトウェア	2,477	190
無形固定資産合計	2,477	190
投資その他の資産		
投資有価証券	868,177	661,064
繰延税金資産	299,092	394,898
その他	196,472	154,775
投資その他の資産合計	1,363,741	1,210,738
固定資産合計	1,607,198	1,428,900
資産合計	7,400,069	7,149,650
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,258	27,806
リース債務	3,300	3,404
未払金	629,211	901,482
未払法人税等	221,010	200,021
未払消費税等	82,997	63,829
契約負債	411,725	301,310
その他	76,302	75,767
流動負債合計	1,449,807	1,573,622
固定負債		
リース債務	15,568	12,163
繰延税金負債	7,996	12,039
固定負債合計	23,564	24,202
負債合計	1,473,371	1,597,825
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,231,463	1,268,183
資本剰余金	1,217,463	1,254,183
利益剰余金	3,229,980	3,564,538
自己株式	△790	△1,000,737
株主資本合計	5,678,118	5,086,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,649	8,748
その他の包括利益累計額合計	△5,649	8,748
新株予約権	254,229	456,908
純資産合計	5,926,697	5,551,825
負債純資産合計	7,400,069	7,149,650

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,588,053	7,757,523
売上原価	609,902	814,269
売上総利益	5,978,150	6,943,253
販売費及び一般管理費	4,917,605	5,990,664
営業利益	1,060,544	952,588
営業外収益		
受取利息	60	59
経営指導料	4,000	12,000
助成金収入	4,665	6,347
為替差益	—	388
雑収入	215	836
営業外収益合計	8,941	19,632
営業外費用		
支払利息	619	555
支払手数料	2,615	1,199
投資事業組合運用損	3,065	36,748
為替差損	3,903	—
自己株式取得費用	—	2,999
寄付金	—	7,000
雑損失	6	1,125
営業外費用合計	10,210	49,629
経常利益	1,059,276	922,591
特別損失		
投資有価証券売却損	31,018	—
投資有価証券評価損	—	300,000
特別損失合計	31,018	300,000
税金等調整前当期純利益	1,028,257	622,590
法人税、住民税及び事業税	412,990	386,150
法人税等調整額	△34,699	△98,117
法人税等合計	378,291	288,033
当期純利益	649,966	334,557
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	649,966	334,557



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	649,966	334,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,649	14,398
その他の包括利益合計	△5,649	14,398
包括利益	644,316	348,956
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	644,316	348,956
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,123,688	1,109,688	2,804,757	△790	5,037,345
会計方針の変更による 累積的影響額			△224,743		△224,743
会計方針の変更を反映し た当期首残高	1,123,688	1,109,688	2,580,014	△790	4,812,601
当期変動額					
新株の発行(新株予約 権の行使)	360	360			720
譲渡制限付株式報酬	107,415	107,415			214,830
親会社株主に帰属する 当期純利益			649,966		649,966
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	107,775	107,775	649,966	—	865,516
当期末残高	1,231,463	1,217,463	3,229,980	△790	5,678,118

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	—	—	74,366	5,111,711
会計方針の変更による 累積的影響額				△224,743
会計方針の変更を反映し た当期首残高	—	—	74,366	4,886,968
当期変動額				
新株の発行(新株予約 権の行使)				720
譲渡制限付株式報酬				214,830
親会社株主に帰属する 当期純利益				649,966
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△5,649	△5,649	179,862	174,212
当期変動額合計	△5,649	△5,649	179,862	1,039,728
当期末残高	△5,649	△5,649	254,229	5,926,697

当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,231,463	1,217,463	3,229,980	△790	5,678,118
当期変動額					
譲渡制限付株式報酬	36,720	36,720			73,440
親会社株主に帰属する 当期純利益			334,557		334,557
自己株式の取得				△999,947	△999,947
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	36,720	36,720	334,557	△999,947	△591,949
当期末残高	1,268,183	1,254,183	3,564,538	△1,000,737	5,086,168

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△5,649	△5,649	254,229	5,926,697
当期変動額				
譲渡制限付株式報酬				73,440
親会社株主に帰属する 当期純利益				334,557
自己株式の取得				△999,947
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	14,398	14,398	202,679	217,078
当期変動額合計	14,398	14,398	202,679	△374,871
当期末残高	8,748	8,748	456,908	5,551,825

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,028,257	622,590
減価償却費	40,402	35,314
株式報酬費用	179,862	202,679
投資有価証券売却損益 (△は益)	31,018	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	300,000
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,065	36,748
為替差損益 (△は益)	—	△1,314
受取利息	△60	△59
支払利息	619	555
支払手数料	2,615	1,199
助成金収入	△4,665	△6,347
自己株式取得費用	—	2,999
寄付金	—	7,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,683	△98,568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,679	2,355
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,289	△713
仕入債務の増減額 (△は減少)	20,930	2,548
未払金の増減額 (△は減少)	△106,739	270,989
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,007	△19,168
契約負債の増減額 (△は減少)	87,794	△110,415
その他資産の増減額 (△は増加)	37,339	105,858
その他負債の増減額 (△は減少)	△16,503	△1,171
小計	1,235,278	1,353,083
利息の受取額	60	59
利息の支払額	△619	△555
助成金の受取額	4,665	6,347
寄付金の支払額	—	△7,000
その他の支出	△2,615	△1,199
法人税等の支払額	△532,085	△406,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,683	944,232
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24,577	△9,903
投資有価証券の取得による支出	△599,878	△108,883
投資有価証券の売却による収入	39,001	—
敷金の差入による支出	△2,423	—
預け金の預入による支出	—	△45,000
差入保証金の回収による収入	—	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△587,878	△163,749
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	720	—
リース債務の返済による支出	△2,750	△3,300
自己株式の取得による支出	—	△1,002,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,030	△1,006,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114,774	△224,451
現金及び現金同等物の期首残高	4,834,986	4,949,761
現金及び現金同等物の期末残高	4,949,761	4,725,309

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、会社を基礎とした事業別のセグメントで構成されており、「People Tech事業」、「Sports Tech事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「People Tech事業」は、成功報酬型求人メディア「Green」、組織力向上プラットフォーム「Wevox」及びビジネス版マッチングアプリ「Yenta」等のサービスを提供しております。

「Sports Tech事業」は、プロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」の運営等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、一般取引条件と同様に決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額 (注2)
	People Tech事業	Sports Tech事業	計		
財またはサービスの事業別					
Green	4,822,575	—	4,822,575	—	4,822,575
Wevox	1,410,309	—	1,410,309	—	1,410,309
新規事業	103,908	806,509	910,418	△555,249	355,168
顧客との契約から生じる収益	6,336,793	806,509	7,143,303	△555,249	6,588,053
その他の収益	—	—	—	—	—
売上高					
外部顧客への売上高	6,336,793	251,259	6,588,053	—	6,588,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	555,249	555,249	△555,249	—
計	6,336,793	806,509	7,143,303	△555,249	6,588,053
セグメント利益又は損失 (△)	1,106,509	△48,364	1,058,144	2,400	1,060,544
セグメント資産	6,478,602	1,095,989	7,574,591	△174,522	7,400,069
セグメント負債	1,389,265	258,629	1,647,894	△174,522	1,473,371
その他の項目					
減価償却費	32,187	8,215	40,402	—	40,402
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,140	20,501	27,642	—	27,642

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額2,400千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△174,522千円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△174,522千円は、セグメント間の債務の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	People Tech事業	Sports Tech事業	計		
財またはサービスの事業別					
Green	5,237,239	—	5,237,239	△900	5,236,339
Wevox	1,964,546	—	1,964,546	—	1,964,546
新規事業	97,705	1,213,931	1,311,636	△754,999	556,636
顧客との契約から生じる収益	7,299,491	1,213,931	8,513,423	△755,899	7,757,523
その他の収益	—	—	—	—	—
売上高					
外部顧客への売上高	7,298,591	458,931	7,757,523	—	7,757,523
セグメント間の内部売上高又は振替高	900	754,999	755,899	△755,899	—
計	7,299,491	1,213,931	8,513,423	△755,899	7,757,523
セグメント利益又は損失(△)	973,317	△23,578	949,738	2,850	952,588
セグメント資産	6,079,013	1,238,154	7,317,167	△167,516	7,149,650
セグメント負債	1,432,088	333,253	1,765,342	△167,516	1,597,825
その他の項目					
減価償却費	26,794	8,519	35,314	—	35,314
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	8,276	2,908	11,184	—	11,184

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額2,850千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△167,516千円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△167,516千円は、セグメント間の債務の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	210.54円	197.73円
1株当たり当期純利益	24.20円	12.60円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	24.08円	12.60円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	649,966	334,557
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	649,966	334,557
普通株式の期中平均株式数(株)	26,861,569	26,555,581
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	133,153	10
(うち新株予約権(株))	(133,153)	(10)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2022年1月14日開催の取締役会決議による第9回新株予約権新株予約権の数 1,952個 (普通株式 195,200株)	2021年1月15日開催の取締役会決議による第8回新株予約権新株予約権の数 1,588個 (普通株式 317,600株)  2022年1月14日開催の取締役会決議による第9回新株予約権新株予約権の数 1,945個 (普通株式 194,500株)  2023年1月13日開催の取締役会決議による第10回新株予約権新株予約権の数 3,000個 (普通株式 300,000株)



## (重要な後発事象)

## (合弁会社の設立)

当社は、2023年9月15日開催の取締役会決議に基づき、株式会社三井住友フィナンシャルグループとの間で2023年9月15日に株主間契約を締結し、2023年10月2日にSMBC Wevox 株式会社を設立いたしました。当該合弁会社は当社の持分法適用関連会社となる予定であります。

## (1) 合弁会社設立の目的

当社及び株式会社三井住友フィナンシャルグループは、人的資本の側面から企業価値向上を支援するSMBC Wevox株式会社を設立し、組織力向上ソリューション「SMBC Wevox」を提供いたします。SMBC Wevox株式会社は、「所属する誰もが誇れる組織」の形成をサポートすることで、より多くのヒト・組織の可能性やパフォーマンスを最大化し、日本全体の価値を世界へ発信することを目指します。

## (2) 設立した合弁会社の概要

名称	SMBC Wevox株式会社
所在地	東京都港区麻布十番一丁目10番10号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 杉本 秀和
事業内容	企業の組織力や企業価値向上支援等
資本金	50,000千円
合弁会社に対する出資比率	株式会社三井住友フィナンシャルグループ：55% 当社：45%

## (3) 取得する株式の数、取得価額

取得株式数	450株
取得価額	45,000千円